Googleドライブから教材を配布する方法

(1) ChromeブラウザでGoogleドライブ (http://drive.google.com) にアクセスします。

既にログインされている場合にはドライブ上のファイルが表示されますが、Googleアカウントにログインしていない場合にはログインが求められます。大妻学院の**G Suiteのアカウント**でも**個人のGoogleアカウント**でもどちらでも構いません。ただし、G SuiteのアカウントIDと同じメールアドレスで大妻メールが届かない非常勤講師の方は、編集権限のリクエストなどの通知が届きませんので、個人のGoogleアカウントの方が無難です。2021年度からは大妻メールがG SuiteアカウントのGmailに移行するのでこの問題は解消します。

- (2) 左上の「+新規」のボタンをクリックすると「ファイルのアップロード」というメニューが表示され、それをクリックして学生に配布したいファイル(例えば、pdf, pptx, mp4, …)をアップロードします。
- (3) ドライブ上のそのファイルが表示されますので、そのファイルを右クリックします。「共有可能なリンクを取得」というメニューが表示され、それをクリックしてさらに「詳細」をクリックすると、以下のような画面が表示されます。



上記では「リンクを知っている全員が**閲覧可**」が選択されていることを確認して下さい。**このリンクをmanabaのコースニュースに貼り付け、そのコースニュースを「リマインダ送信して公開」**することで、学生に教材のURLをメールで伝えることができます。GoogleドキュメントやGoogle スライドの場合には、この設定を「リンクを知っている全員が**編集可**」に変更することもできます。この設定は、グループワークなどで学生に編集作業させる場合に使用します。

大妻学院のG Suiteのアカウントでは、G Suiteアカウントを持つ人(=教員)に共有範囲を限定することがデフォールト設定となっていますので注意が必要です。この場合、「詳細設定」から以下のように共有オプションを変更します。



2020年度では学生にはG Suiteのアカウントを発行しませんので、必ず、このオプションで上記のように「リンクを知っている全員」に設定してください。この設定を行わなければ学生はファイルをダウンロードできませんので、注意が必要です。

Googleアカウントにログインしなくてもダウンロードできることを確認するには、ブラウザの「シークレットウィンドウ」の機能が便利です。シークレットウィンドウにこのリンクを貼り付けて開くと、Googleアカウントにログインしていない状態でアクセスするとどうなるか簡単に確認することができます。